

平成26年度

第9回大分県教育委員会 会議録

日 時 平成26年8月5日(火)

開会13時40分 閉会15時07分

場 所 教育委員室

平成 2 6 年度
第 9 回大分県教育委員会

【議 事】

- (1) 報 告
 - ①第 3 8 回全国高等学校総合文化祭の結果について
- (2) 教育委員会討議
 - ・新採用教員との意見交換
- (3) その他

【内 容】

1 出席者

委 員	委員長	松 田 順 子
	委員長職務代理者	林 浩 昭
	委員	麻 生 益 直
	委員	岩 崎 哲 朗
	委員	首 藤 照 美
	教育長	野 中 信 孝

欠席委員なし

事務局	理事兼教育次長	河 野 盛 次
	教育次長	落 合 弘
	教育次長	大 城 久 武
	教育改革・企画課長	佐 野 壽 則
	教育人事課長	藤 本 哲 弘
	教育財務課長	岡 田 雄 雄
	福利課福利厚生監	木 村 哲 雄
	義務教育課長	後 藤 榮 一
	生徒指導推進室指導主事兼室長補佐(総括)	阿 南 典 久
	特別支援教育課企画班指導主事兼主幹(総括)	古 庄 一 夫
	高校教育課高校改革推進班参事(総括)	姫 野 秀 樹
	社会教育課長	曾根崎 靖
	人権・同和教育課長	甲 斐 順 治
	文化課長	山 口 博 文
	体育保健課長	蓑 田 智 通
	教育改革・企画課主幹	勝 尾 裕 美
	教育改革・企画課主査	石 丸 一 輝

2 傍聴人

9 名

開会・点呼

(松田委員長)

それでは、委員の出席確認をいたします。
本日は、全委員が出席です。

ただいまから平成26年度 第9回教育委員会会議を開きます。

署名委員指名

(松田委員長)

本日の会議録の署名委員でございますが、岩崎委員にお願いしたいと思っております。

会期の決定

(松田委員長)

本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりであります。
会議の終了は15時00分を予定しております。
よろしく申し上げます。

議 事

(松田委員長)

それでは、報告に移ります。
報告の申し出が1件ございます。

【報 告】

- ①第38回全国高等学校総合文化祭の結果について

(松田委員長)

それでは、報告第1号「第38回全国高等学校総合文化祭の結果について」報告をしてください。

(山口文化課長)

全国高等学校総合文化祭の結果について報告いたします。

総合文化祭は7月27日から7月31日までの5日間、茨城県のつくば市や水戸市など17の市や町で開催されました。大分県からは317名の生徒が参加しました。

高校生の日頃の文化芸術活動の成果の発表の場として、本年度が38回目となります。演劇や合唱など、19部門の舞台発表や展示発表の中から優秀な成績を収めたものを報告します。

まず、放送については、4部門のうち3部門（アナウンス、朗読、ビデオメッセージ）において、優秀賞を受賞した大分県に最高賞である文部科学大臣賞をいただきました。

将棋については、去年は選外でしたが、今年は第3位に、また、小倉百人一首かるたについては、昨年度ベスト8から今年は準優勝と躍進しました。

最後に、自然科学部門の発表について、部門4種目（物理、化学、生物、地学）のうち2種目で最優秀賞を受賞しました。科学部門では、大分上野丘高校が『イオン泳動の研究』で、生物部門では、大分舞鶴高校が『高崎山ニホンザルの研究』で最優秀賞を受賞しました。また、大分上野丘高校は自然科学部門のパネル発表においても奨励賞をいただきました。

その他の種目についても上位の評価を受けており、これも常日ごろの生徒の芸術文化活動と指導者の鍛錬の成果だと考えます。

この大会に出場した生徒には、すぐれた文化芸術活動に触れたことにより得た、すばらしさや美しさに感動する経験を、今後の学校での文化芸術活動に活かしていただきたいと思います。

以上でございます。

(松田委員長)

何か質問・ご意見等はございませんか。

(岩崎委員)

最優秀賞を受賞した自然科学部門の研究発表内容について、県民の方々が見たいというときには、どのような方法がありますか。

(山口文化課長)

現在は方法がありませんので、検討したいと思います。

(麻生委員)

放送の各部門ごとの受賞者の学校名を教えてください。

(山口文化課長)

- ・アナウンス部門 大分高等学校 河野 真歩(かわの まほ)
 - ・朗読部門 大分雄城台高校 吉良 奈菜子(きら ななこ)
 - ・ビデオメッセージ部門 大分舞鶴高等学校 放送部
- となっております。

(林職務代理者)

自然科学部門の出場校については、県内での選抜はどのように行っていますか。

(山口文化課長)

大分県高等学校文化連盟が選出しています。大分上野丘高校の他には、安心院高校、佐伯鶴城高校も出場しています。

(林職務代理者)

たくさんのお出場校が出ていることは、とてもよいことだと思います。理科教育がよくなった成果ではないでしょうか。今後も、ぜひ応援していただきたいと思います。

今回、報告されている以外の部門についても、出場していますか。

(山口文化課長)

吹奏楽など、他の部門についても出場しています。

私が視察に行ったときには、百人一首かるたにおいて、予選リーグを5対0のスコアで勝ち抜いていましたので、優勝を期待しましたが、残念ながら決勝で東京に敗退しました。

(松田委員長)

百人一首かるたで、中津南高校出身のかるたクイーンの後継者が頑張っていることは、とても素晴らしいと思います。

【教育委員会討議】

(松田委員長)

それでは、教育委員会討議を行います。今回の内容は、「新採用教員との意見交換」です。

県内の小学校、中学校、高校、特別支援学校の新採用の先生方から見た学校の課題やその解決に向けた取組について、意見交換を行いたいと考えております。

では、意見交換に入りたいと思います。

(松田委員長)

本日は新卒の方、臨時講師の経験のある方、どちらもいらっしゃいますが、採用から4ヶ月が経ち、学校現場で教諭として勤務して感じたこと、臨時講師との違いなどを聞かせていただきたいと思います。

(安岐小学校・教諭)

私は臨時講師を4年経験して教諭になりましたが、責任等の気持ちの面で違うと感じています。臨時講師でも、新採用でも、同じ教育目標に向かう中で、臨時講師の時に研修がもっとあればよかったと思います。

安岐小学校には臨時講師がいますが、教諭と同じ仕事をしていて、私だけが研修で抜けている状況です。学校は、朝の出欠確認から全て子どもたちに関わっていて、時間をうまく使わないと、自分の休み時間もなかなか取りづらいつらいと思いつつも、子どもたちと関わりたいの思いつから、ここまでやれています。

私は息子が3人いて、親も近くにおらず、夫は大分に単身赴任していて、夫の親は日田なので子育てとの両立が難しいですが、地域の方々が子どもを見てくれる等協力をしてくれています。

(岩崎委員)

臨時講師の方が受ける研修として、どのような内容があればよいと思いますか。

(安岐小学校・教諭)

初任者研修で学ぶものと同様のものがあれば、学校現場で働く者として、最低限のものが学べると思います。

(松田委員長)

臨時講師の方が受けられる研修はありますか。

(河野理事兼教育次長)

2年前くらい前から始めました。それまでは、ありませんでした。臨時講師対象の研修と同様に、採用前の研修も充実を図っており、まだ不十分な面はありますが、4月に入って新採用の先生方が困らないように

しています。

(鶴岡小学校・教諭)

私は静岡県で教諭をしていましたが、辞めて大分県に戻ってきました。臨時講師を2年間して、そのまま現在の学校に採用になりました。今の学校は若い先生も多く、とても楽しく仕事できています。困ったことも同僚に話をして、心の安定を図っています。

今は通勤時間が10分ほどですが、運転が得意ではないので、これから異動するときに通勤できるのか心配です。静岡の友人が事故を起こしてしまったので、自分の命だけでなく、他人の命を殺めてしまったときに、この仕事がやっていけなくなるのではないかと心配があります。自分の健康管理は大事ですが、子どものためにと時間を費やすと、体に負担がかかるのが現実です。今は家も近いため、睡眠時間も確保できていますが、眠いなか運転する不安と実際に友人が事故を起こしてしまったことを考えると、通勤のことが不安です。

(光岡小学校・教諭)

最初に思ったことは、先生は何てやりがいがあるのだろうということです。その中で責任の重さを感じています。この子どもの1年間を預かっていると思うと、1年目であっても、他の先生がやってきたことと同じようにしなければいけないと頑張ってきました。毎日寝る前に、子どもと話したことを思い出すことが幸せです。

今困っていることが2つあり、1つ目はいわゆる「気になる子」への支援です。まだ2年生なので、その子の幼さからのわがままなのか、それとも本当に困っているからなのか、まだ掴めないところがあるので、これから目を養っていきたいです。

(麻生委員)

そのような場合は、他の先生に相談されるのですか。

(光岡小学校・教諭)

はい、相談はしています。支援員の方もいらっしゃいますが、他の子どももいるため、ついてもらうことも難しいです。本当に困っているのか、ただのわがままなのか、その境目が難しいです。

2つ目は、最終的に関わっていく子どもたちを自信に溢れる子にしたいと思っています。自分に自信がない子どもがたくさんいると言われていますが、現実を見て、本当に自信がないんだと感じました。一人ひとりに向き合って自信をつけていきたいと思っています。

(日田三隈高校・教諭)

私は1年生の担任をしており、硬式野球部の顧問をしています。7年間臨時講師を経験しましたが、高校野球が好きなので、部活動の指導に明け暮れていました。しかし、採用され担任をしてみて、部活動に割く時間がないと感じています。困っていることは多々ありますが、他の先生方のサポートのおかげで毎日過ごしています。私の理想の生徒は、誰とでもコミュニケーションをとれて、自立した生徒です。

(中津南高校・教諭)

私は、去年まで大学院生でした。教員1年目なので、授業の準備の蓄えがなく、教科指導に専念するために副担任にいただきました。授業で思うことは、生徒の学力差がありすぎて、授業がやりにくいことです。ある生徒は授業内容に飽きていますが、ある生徒は全くわからないといった時に、どう対応するとよいのか、どんなフォローをするとよいのか悩んでいます。現実的には、放課後も部活動や分掌の仕事があるため、フォローができていません。1番の悩みは、授業の進度をどこに合わせていくかです。また、私の教科は理科ですが、実験をした中で、生徒自身に考察させて、科学的思考力を伸ばしていこうという研究を大学院生のときにしていました。その理想を学校現場で実践してみたいと思っていましたが、難しいです。理由としては、進学校なので、授業進度を考えると実験を十分にできないためです。授業の進度を考えつつ、どのように生徒を伸ばしていくかが今の悩みです。

(林職務代理者)

科学部の顧問ではないのですか。そこで理想的な研究をすればよいのではないのでしょうか。

(中津南高校・教諭)

顧問ではありません。

(新生支援学校・教諭)

熊本の小学校で3年間働いていました。結婚後に試験を受けて、採用になりました。職員室の広さと職員の多さに驚きました。支援が必要な子どもは多いですが、いざ学校が始まると人手が足りないと思いました。知的の単一障がいのクラスで子ども2人を担当していますが、障がいの実態に差が大きいため、ついつい支援がより必要な子についてしまっています。人手があればもう一人の子にも、もっとつけるのかなと思います。

(林職務代理者)

小学校の先生と支援学校の先生の違いは何だと思いますか。

(新生支援学校・教諭)

人数や支援の方法は違いますが、子どもへの想いは変わらないです。

(盲学校・教諭)

大学卒業後、4年間寄宿舎指導員をしていました。盲学校にも最近では知的障がいをもった生徒が入学するため、特殊な難しさがあると思っています。特別支援学校では、先生と生徒が常に一緒に行動しているイメージがあると思いますが、盲学校は単一であれば教科担任制ですので、重度の知的障がいをもった重複障がいの生徒への対応は難しいところがあると思います。ただ、色々な先生と触れ合える良さがあると思います。

(首藤委員)

専門の教科は何ですか。

(盲学校・教諭)

保健体育です。

(首藤委員)

盲学校で教えるにあたって、難しいことはありますか。

(盲学校・教諭)

体育であれば、安全面で細心の配慮が特に必要です。球技でも、生徒の見え方に違いがあるので、その段階を踏むのが大変です。今は生徒が、それほど多くないので、対応できているのではないかと思います。

(竹田南部中学校・教諭)

臨時講師を3年して採用になり、今年は2年生の担任をしています。臨時講師のときから思っていることは、家庭環境が非常に厳しい子どもが多いということです。母子家庭であることや父親が単身赴任のため、一人で家にいることが多いなどの環境の影響で、学校に来て体調が悪そうであったり、眠そうであったりする子どもが非常に多いことが気になります。それを学校の教育でどうにかするのは難しいですが、そのような子どもが将来どうなるのか考えると、とても心配です。子どもと触れ合うなかで、教員の数が足りないと思います。初任者研修で学校にいないときに、そのような生徒に何かあったらどうしようと心配になります。研修と子どもと触れ合うことの両立が難しいと思っています。

(林職務代理者)

研修で学校にいないときに、クラスの生徒を他の先生にお願いするこ

とは難しいですか。

(竹田南部中学校・教諭)

他の先生も、ご自身のクラスや教科があり、たくさんの研修があります。例えば、ある授業時間には職員室に誰もいないこともあります。お任せはしますが、何かあったときに、担任である自分がそこにいないといいのかなと思います。

(林職務代理者)

初任者研修の日程の組み方等、研修の在り方について、何か考えはありますか。

(竹田南部中学校・教諭)

初任者研修は木曜日に設定されていますが、曜日が指定されていると助かります。また、似たような内容であれば一つにしてみようとか、日程についても、早い時期に連絡があれば、学校現場として助かるのかなと思います。

(中津中学校・教諭)

教員は2年目で、去年は高校で臨時講師をしていました。感じていることは、教員の数が足りないということです。去年は、進学校だったため、生徒指導に手がかかることはあまりありませんでした。今は、授業中に走り回る生徒やいなくなる生徒がいるため、授業がない時間でも、その対応に時間が割かれています。特別な支援が必要な生徒もいますが、20分の集中もできずに教室から飛び出してしまいます。担任も学年の先生も授業でおらず、管理職や事務職員が職員室で面倒を見ることがよくあります。各クラスに担任と副担任の2人は必要だと感じています。

(松田委員長)

先生方から、いろいろなご意見をいただきましたが、その他、何かご意見等ありましたら、お願いします。

(安岐小学校・教諭)

2年生の担任をしており、発達障がいのある子どもがいます。去年は支援員の方がいらっしゃいましたが、今年は1年生に配属しなければならず、2年生はクラスで指導しています。クラス全体のことがあるので、その子ども達だけにつくわけにもいきません。支援が必要な子どもへの連携が必要ですし、特別支援学校の先生と話す時間もほしいです。幼少連携もありますが、子どもの情報が3月にならないとわからないため、本当に連携できているのかと思うことがあります。

(岩崎委員)

中津中学校の教諭が話していた生徒への対応についてですが、学年ごとの他に、校長や教頭などを含めて組織的に対応していますか。

(中津中学校・教諭)

あまり組織的ではないです。各学年で起きた問題は各学年で対応しています。

(岩崎委員)

学年主任の先生や管理職に対して、今抱えている問題について、報告したりすることはないのでしょうか。

(中津中学校・教諭)

報告は密にしていますし、学年会に管理職に来ていただいて、アドバイスをいただいています。定期的に行うわけではありません。

(岩崎委員)

先ほど1クラスに2人(担任・副担任)が必要との意見でしたが、今の段階では、個々の問題に対して、ケースバイケースの対応をせざるを得ない状況になっていると思います。これからは、学校全体で取り組まなくてはならないと思います。新採用の先生方には、このような場合は学校全体で、どのように取り組むべきか提案していただいて、組織的に対応してほしいと思います。

(松田委員長)

以上で意見交換を終わりたいと思います。

まだ、お話をしたいことはあると思いますが、これからも先生方との関係を密に保っていきたいと思いますし、これからも先生方のがんばりをバックアップしていきたいと思います。

本日は、いろいろなご意見をいただき、ありがとうございました。

では、先生方は退席をお願いいたします。

(新採用教員は退席)

(松田委員長)

では、最後にこの際、何かありましたら、お願いします。

ないようですので、これで平成26年度第9回教育委員会会議を閉会します。

お疲れ様でした。

平成26年度第9回大分県教育委員会会議次第

日時 平成26年8月5日(火)

13:40~15:00

場所 教育委員室

1 開 会

2 署名委員の指名

3 議 題

(1) 報 告

①第38回全国高等学校総合文化祭の結果について

(2) 教育委員会協議(自由討議)

・新採用教員との意見交換

(3) その他

4 閉 会

第38回全国高等学校総合文化祭の結果について

1. 第38回全国高等学校総合文化祭の概要

全国高等学校総合文化祭は、昭和52年から毎年、8月上旬に開催されている各都道府県代表高校生による芸術文化活動の文化の祭典。演劇、合唱、吹奏楽等規定19部門の舞台発表と展示発表等が、5日間の日程で繰り広げられました。

主催・・・文化庁、公益社団法人全国高等学校文化連盟、茨城県等

日程・・・平成26年7月27日～31日

2. 第38回全国高等学校総合文化祭最終結果(3位以内入賞)

部門名	結 果	学校名・団体名	内 容
放送(総合)	文部科学大臣賞 (総合優勝)	大分県	アナウンス部門、朗読部門、ビデオメッセージ部門の3部門で優秀賞を受賞。 チーム大分としての受賞。
将棋	男子団体 (第3位)	大分豊府高等学校	参加校48校からの受賞
小倉百人一首かるた	文化庁長官賞 (準優勝)	中津南高等学校 日田高等学校 (合同チーム)	参加40都道府県からの受賞
自然科学 研究発表 (化学)	最優秀賞	大分上野丘高等学校	テーマ「イオン泳動の研究」 ～限界泳動距離の出現について
自然科学 研究発表 (生物)	最優秀賞	大分舞鶴高等学校	テーマ「高崎山ニホンザル群における『石遊び』の研究Ⅳ」 ～B群とC群の石遊び行動の比較
自然科学 ポスター(パネル)発表	奨励賞 (3位に相当)	大分上野丘高等学校	テーマ「高分子膜の研究Ⅴ」 ～液体を閉じ込めたコロジオン膜